

## NPO法人 ルワンダの教育を考える会とは？

ルワンダの子ども達に夢を！

### 学校建設の支援

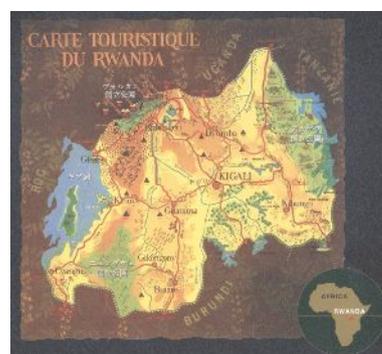
戦争で希望をなくした多くの子ども達に平和と発展のカギである教育を受けるチャンスを与える。

### 学校運営の援助

民族や宗教・政治思想にとらわれることなく、その人らしく生きていくためのさまざまな教育支援活動をする。

1994年、アフリカのルワンダ。長年続いていたかつての植民地支配が生み出した民族間の争いが大虐殺に発展し、100日で約100万人もの罪なき人々が惨殺されました。

本会副理事長であるマリールイズは1993年に青年海外協力隊のカウンターパート研修として福島県文化学園で洋裁の研修を受けていました。1994年帰国後すぐに首都キガリで内戦が勃発。必死の逃亡を経て隣国旧ザイールへ。難民キャンプで偶然出会った日本人医師の日本語通訳となり、縁あって1994年12月に家族そろって再来日を果たすことが出来ました。



### 「ルワンダの悲劇から学んだ 教育の大切さ」 カンベンガ マリールイズ

私はルワンダの内戦という辛く悲しい体験の中から命の尊さ、平和の大切さを身をもって学びました。

現地ルワンダでは、義兄チャールズが中心となり「ADESOC」というNGOを発足させ、ウムチヨムウイーザ学園の建設と運営を担当しております。

戦争で心身ともに傷ついたルワンダの子ども達に、教室で学びながら、夢を取り戻してほしいという願いのもとに、幼稚園・小学校をルワンダのキガリに建設しました。今では教室を一つ一つ増やしながら将来は大学まで備えた総合学園を作りたい……夢は膨らんでいます。

本会は「ADESOC」の趣旨実現のために、さまざまな教育支援活動をしています。

本会の応援をしていただきながら、平和な日本にいる皆さんが出来る社会貢献とは何かを考えるきっかけにさせていただければありがたいです。

